

一般社団法人



農村文明創生日本塾は
農山漁村に根ざした個性豊かで多様な
文化や暮らしの持続と発展を目指します

農村文明創生日本塾



理念

「農村文明」とは、「農耕漁撈文化が営々と築いてきた歴史的、文化的、教育的な価値、地域で支え合う地域自治機能と、食糧生産、水源涵養、癒しの場といった多面的な機能を、時代に即してさらに磨きかけた持続可能な文明である」と考えます。そしてそれらを志の高い自治体首長・有識者・研究者・実践家等の有機的連携により発展させ、農山漁村と都市をつなぐ共通の価値観としての「農村文明」の創生を目指します。

ミッション

「農村文明」の理念を柱に、魅力ある農山漁村の創生を図り、以て都市と農山漁村共生社会の実現と信頼感に満ちた持続可能な社会の発展に寄与する国民運動を目指します。

ビジョン

めざす姿

- 「農村文明」の意義や重要性に関する農山漁村や都市の住民の理解が深まり都市と農山漁村の共生をめざした交流事業を全国規模で展開されるようにします。
- 「農村文明」の理念を柱に、地域の独自の文化や暮らしを持続、発展させるための農村文明創生地域塾を全国で展開します。

バリューズ

「農村文明」理念を柱に、活動で重視すること

- ① リスペクト 農山漁村の多様性や個性に対する国民的な理解と敬意
- ② ローカルエコノミー 経済的自立をめざした地域づくり
- ③ フューチャー 持続可能な未来志向の地域づくり
- ④ スローライフ 地域に住むことに幸福を感じる暮らしづくり



1 | 農山漁村の多様性や個性に対する国民的な理解と敬意（リスペクト）

地域で育み、維持されてきた「農村文明」に磨きをかけ、地域住民はもとより都市生活者や海外からも「農村文明」の意義に対する理解と敬意を得られるような活動に取り組みます。そして、農山漁村での暮らしに誇りを感じられる社会の実現を目指します。

- ① **日本塾：国民や国を対象とした農村文明啓発事業**
 - ・ 時勢に応じた課題をテーマにしたフォーラムなどの開催
 - ・ 有識者等によるクロストークやイベント企画
- ② **地域塾：都道府県やブロック（広域圏）など地方を対象とした農村文明啓発事業**
 - ・ 市町村会員との共同開催による農村文明の啓発
 - ・ 会員拡大のためのフォーラムやワークショップの開催
- ③ **地元塾：会員市町村において旬なテーマがある場合に開催**
 - ・ 主に地元住民への啓発事業
 - ・ 市町村の創意工夫による事業展開
- ④ **広報・情報発信**
 - ・ 塾の活動の紹介
 - ・ 農村文明創生の取組事例紹介

2 | 経済的自立をめざした地域づくり（ローカルエコノミー）

地域の豊かな自然、景観をはじめ歴史・文化、産物などの地域資源を経済価値に転換する多様な取り組みにより、持続可能な地域経済の仕組みを創出します。

- ① **経済的自立のための事業づくり**
 - ・ 多様な地域資源の発掘と経済価値の創出（ふるさと産品、観光交流など）
 - ・ 地域内経済循環（エネルギーの地産地消など）
- ② **地域間の連携・交流**
 - ・ 「農村文明」の理念を共有する農山漁村、都市との交流（産直市など販売交流、子どものふるさと体験、学生の地域学習・インターンシップ、災害時の相互救援提携など）
 - ・ 先進（成功）事例をモデルにした事業の取り組み
 - ・ 地域商社、農家レストラン、農家民泊、道の駅、定住移住促進
 - ・ 企業のCSR事業との連携（企業との交流・共同プロジェクト）
- ③ **しくみづくり**
 - ・ コミュニティファンド（社会的資本）の活用による地域課題解決への取り組み
 - ・ 第3種旅行業認可の取得による着地型ツアーの造成等
 - ・ 主にCSR目的の企業との交流窓口、マッチングの場、組織づくり



3 | 持続可能な未来志向の地域づくり(フューチャー)

地域課題に世代や地域をこえた未来志向で取り組む地域の礎づくり。多様な人材の参加、交流するしくみ(フューチャーセンター)やローカルベンチャーを創出、支援する仕組みなどのソフトインフラを構築・整備します。

①地域づくりエンジン(装置)の構築

- 既存の組織、人材からの発掘、外部人材の確保
- 短期、単発の事業を持続的な取り組みにつなげるための装置

②地域課題に未来志向で取り組む場や組織づくり

- フューチャーセンターの設立、運営
- 大学や企業との交流、協同

③地域を知る、学ぶ、関心をもつことで地域への帰属意識を高める

- 小中高生に対する郷土学習の機会、場の提供

4 | 地域に住むことに幸福を感じる暮らしづくり(スローライフ)

住民の暮らしの実態を再評価し、地域に住むことに幸福を感じる暮らしとはどんな暮らし方なのかをとりまとめ、地域に根差した暮らし方、ライフスタイルこそが「クール」という情報発信を行います。

①地域に根差した暮らし方、ライフスタイルの情報発信

- 観光交流と連動した情報発信
- スローライフ商品のブランド化(本物志向、地域応援商品など)
- 豊かな自然、健康的な暮らし、食生活を通じた体づくり

②住民の幸福感や若者の進路などの意識調査結果による施策や事業への反映

- ペルソナマーケティング手法による、より属人的な意識や課題の分析
- 村格、都市格の考え方に通ずる地域のアイデンティティや誇りを洗い出し、住民と共有を図る



令和元年度事業計画

令和元年度は、農村文明創生のための啓発活動の一環として、国民や国を対象とする『日本塾』、都道府県やブロック（広域圏）などの地方を対象とする『地域塾』による事業を推進します。また会員の市町村においても、旬なテーマを検討する『地元塾』を開催します。

各事業を実施するに当たり、本塾の顧問を講師として派遣します。

①**日本塾：国民や国を対象とした農村文明啓発事業**

- ・時勢に応じた課題をテーマにしたフォーラムなどの開催
- ・本塾顧問団等によるクロストークやイベントの企画

②**地域塾：都道府県やブロック（広域圏）など地方を対象とした農村文明啓発事業**

- ・市町村会員との共同開催など農村文明の啓発
- ・広域的なテーマや会員拡大のためのフォーラムやワークショップの開催

③**地元塾：会員市町村において旬なテーマがある場合に『地元塾』開催**

- ・市町村事務局担当（全国事務局支援）：主に地元住民への啓発事業
- ・市町村の創意工夫による事業展開（例：南砺市の手習塾、木島平村の農村学講座）

④**「農村文明創生ツーリズム」創生に向けたパイロット事業**

- ・先進事例地でのケーススタディ

【概要】

- ・農山漁村に脈々と受け継がれる伝統文化・芸能・技術を後世に伝えるための新たな仕組みづくりに挑戦し、「農村文明創生ツーリズム」の提唱と推進を目指します。
- ・伝統芸能や伝統工芸、および伝統技術が継承される農山漁村のモデル事例や農家民泊の先進事例などを調査し、情報を提供します。
- ・令和元年度は、東京において自治体職員を対象とする『日本塾』を開催、取組の現状や方向性などについて議論を行います。また、自治体職員向けのワークショップや現地視察を行います。

【本年度事業の内容】

- ・日本塾の開催（1回）：東京
- ・ワークショップ（1回）：先進事例地

◎次年度以降の取組

- ・ワークショップの継続開催
- ・講師や専門家の派遣等、会員自治体の事業化に対する支援



組
織

(五十音順)

塾長	奥島孝康	早稲田大学第14代総長 ボーイスカウト日本連盟理事長
顧問	大森彌	東京大学名誉教授
	川勝平太	静岡県知事
	寺島実郎	(一財)日本総合研究所会長 多摩大学学長
参与	青木豊	國學院大學文学部教授
	岡崎昌之	法政大学名誉教授
	柏木正博	大正大学専務理事
	小国喜弘	東京大学教授
	進士五十八	福井県立大学学長 元東京農業大学学長
	中野不二男	京都大学特任教授 (一財)リモートセンシング技術センター参与
	中村浩志	(一財)中村浩志国際鳥類研究所代表理事 信州大学名誉教授
	原勝則	(公社)国民健康保険中央会理事長 元厚生労働審議官
	原剛	早稲田大学名誉教授
有識者理事	小田切徳美	明治大学教授
	高橋公	認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター理事長
	田村明孝	高齢者住宅経営者連絡協議会 総監督
	丁野朗	ANA 総合研究所シニアアドバイザー、(公財)日本観光振興協会特別研究員
	皆川芳嗣	(株)農林中金総合研究所理事長、元農林水産事務次官
	宮口侗迪	早稲田大学名誉教授
	安田喜憲	国際日本文化研究センター名誉教授
	芳川修二	長野県木島平村議会議員(前村長)
代表理事	田中幹夫	富山県南砺市長
副代表理事	市村良三	長野県小布施町長
	外山京太郎	群馬県川場村長
	芳川修二	長野県木島平村議会議員(前村長)
監事	片山健也	北海道ニセコ町長
	小坂泰久	千葉県酒々井町長

首長理事	蝦名大也(北海道釧路市長)	岡部光徳(福島県古殿町長)	市村良三(長野県小布施町長)
	佐々木修一(北海道遠軽町長)	長谷川最定(群馬県南牧村長)	岩城福治(徳島県佐那河内村長)
	本田敏秋(岩手県遠野市長)	外山京太郎(群馬県川場村長)	兵頭誠亀(愛媛県鬼北町長)
	石森春男(福島県玉川村長)	佐藤雅一(新潟県魚沼市長)	江頭実(熊本県菊池市長)
	澤村和明(福島県平田村長)	田中幹夫(富山県南砺市長)	

令和元年7月31日現在



会
員
募
集

農村文明創生日本塾は、農山漁村に根差した個性豊かで多様な文化や暮らしの持続と発展を、国民運動として目指し、「農村文明」の理念を柱に、魅力ある農山漁村の創生とともに、都市と農山漁村共生社会の実現と信頼感に満ちた持続可能な社会の発展に寄与することを目的としています。

農村文明創生日本塾の活動には国の行政機関からもご賛同のお言葉を頂戴しております。

これからより一層活動を活発化していきたいと考えておりますので、どうか趣旨をご理解いただき、ご加入いただきますようお願いいたします。

会員区分	内 容	年会費
正会員(市)	総会での議決に参加し、 農村文明創生日本塾の活動に参画する市	60,000 円
正会員(町村)	総会での議決に参加し、 農村文明創生日本塾の活動に参画する町村	30,000 円
正会員(有識者)	農村文明創生日本塾の活動を支援し、 総会での議決に参加する地方自治体以外の個人会員	10,000 円
法人賛助会員	農村文明創生日本塾の趣旨に賛同、 支援する法人会員	1口:100,000 円
個人賛助会員	農村文明創生日本塾の趣旨に賛同、 支援する個人会員	10,000 円

(一社)農村文明創生日本塾 事務局

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8 神田駿河台ビル4階

TEL:03-3259-1900 FAX:03-5259-6381

e-mail:n-bunmei@ari.co.jp





<http://nouson-bunmei.com>

